

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 ( 学 術 )	氏名 Author	MYO MIN KYI WIN
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation Essays on International Trade, Vertical Linkages, and Trade Agreements			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	柿 中 真	広島大学大学院国際協力研究科 教授	印 Seal
審査委員 Committee	市 橋 勝	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	高 橋 与 志	広島大学大学院国際協力研究科 准教授	
審査委員 Committee	高 橋 新 吾	広島大学大学院国際協力研究科 准教授	
審査委員 Committee	Ching-Yang Lin	国際大学大学院国際関係学研究科 准教授	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本博士学位論文は国際貿易、貿易協定、投資協定及び垂直統合にかかる企業行動の伝播との関係性について議論しており、当該研究は学術的のみならず政策的にも重要性の高い課題である。国際経済学の分野における先行研究を踏まえて、国際貿易に関する3つの重要なトピックに特定し、計量経済学を応用して研究を行っている。一つ目は貿易協定に関する研究、二つ目は貿易・投資協定に関する研究、三つ目は技術伝播の経路である国際企業の垂直統合と企業行動との関係性に関する研究である。それぞれの研究課題は新規性・重要性が高く、国際経済学の視点に立った研究結果及び研究含意を導出したことは非常に高く評価できる。本博士学位論文は以下に示しているように5章から構成されている。</p> <p>序 章：導入 第2章：貿易協定と貿易フロー：南北・南南貿易 第3章：貿易協定と投資協定：南北・南南貿易 第4章：フォワード垂直統合とバックワード垂直統合：ミャンマー 終 章：結論</p> <p>主な内容は以下のとおりである。第2章では、貿易協定と貿易フローに関する内容で、貿易協定がどのように二国間貿易と関係しているのかについて南北・南南間貿易の違いに焦点をあてて考察している。研究結果としては、貿易協定の貿易に対する効果は南北間貿易においてより顕著であることが示された。この結果は、近年、開発途上国における貿易協定の重要性が注目されている中、重要な政策的含意を示している。第3章では、第2章の内容を拡張させる形で、貿易協定のみならず、近年、顕著な増加傾向にある投資協定に着目して、貿易・投資協定が二国間貿易にどのように影響を与えているのかを議論している。研究結果として、投資協定は貿易協定の二国間貿易に対する効果を増強すること、つまり、投資協定は貿易協定を補完することが示された。この結果は、国際貿易において金融取引の重要性が高まる中、国際間の投資協定の意義が高まっていることと一致している。第4章では、技術伝播の経路である国際企業の垂直統合と企業行動との関係性について、開発途上国のひとつであるミャンマーの Garment 産業に着目して分析している。個別企業サーベイを実施するによって得られたプライマリーデータを用いて、2種類の国際垂直統合（Backward と Forward）が各企業の生産性及び資本・労働といったインプットにどのように影響するのかについて評価を行っている。主な結果としては、垂直統合は企業の生産性向上と資本蓄積を促進するものの、雇用の増加にはつながっていないことが示されている。</p> <p>第4章に関しては、Impact factor 付国際学術雑誌である Asia Pacific Journal of Accounting &amp; Economics に受理され、出版が決まっている。第2章については、Impact factor 付国際学術雑誌に投稿し、現在、修正・再提出を求められている。第4章については、Impact factor 付国際学術雑誌に投稿し、現在、レビュー待ちの状況である。これまでの研究を踏まえ、国際貿易と投資・貿易政策に関する主要政策課題を体系的に構築・分析し、重要な政策含意を導出していることは高く評価される。以上の結果、試験委員全員一致で、申請者が博士(学術)の学位を授与されるに十分な学識と能力を有しているものと認め、合格と判定した。</p>			